

は最も解明の進んだ病気とされている。

カナダの研究者たちは、PET技術を利用してこのナゾに迫らうと努力している。1982年、メチルフェニテハイドロピリジン(MPTP)を含むある不法薬がパーキンソン病の症状を起こした。ブリティッシュ・コロンビア大学ハルス・サイエンス・センターのカルン教授はこの薬の利用者に脳障害を発見、将来はパーキンソン病にかかるのではないかと予測した。いまでは、多くの研究者が、パーキンソン病の原因のひとつはMPTPの中のピリジンではないか、と考えるようになった。

車椅子利用者のための新開発

自分が身体障害者であることを受け入れ、車椅子に慣れるには、本人にとっても大きな試練である。電動車椅子は動き回るのに便利だが、しかし運転を覚えるのは一苦労だし、時間もかかる。

この苦労を軽減しようと、カルガリー大学、テクニカル・リソース・センター、アルバータ児童病院(いずれもカルガリー)が共同で、電動車椅子運転のシミュレーターを開発している。

ジョイスティック(操作レバー)でコントローラーを操作しながら、電動車椅子で廊下を渡ったり、障害物を回避したりする練習ができるというもので、開発はまだ初期の段階だが、アルバータ児童病院ではすでに利用されている。

一方、NRCのロイ博士は、画期的な車椅子を開発した。

これは、座席が上昇して利用者が周辺の人々の目の高さまで上がれるようになっており、そのため、机上やカウンターでの仕事もしやすくなっている。そのほか、普通の車椅子よりいくつかの点ですぐれている。例えば、4個のキャスターの上に乗せた回転盤に搭載されているため、方向転換がきわめて簡単。座席の下に単電動車輪が、そして膝の高さに輪形のハンドルがついている。ハンドルを回すと、それを握る強さに比例した速度で、車椅子は動き回る。しかも、普通の車椅子と比べてきわめて小型になっており、狭いところでも移動が簡単。ただし、車輪が小さく、でこぼこ道は通れないため、戸外には向いていない。

マトリックス・マーケティング・アンド・マネジメント社(オタワ)は、この車椅子を昨春、国内向けに生産開始したが、うまく行けば、国際市場にも輸出したい考えだという。価格は普通の電動式車椅子のおよそ半額。

複雑な会話も可能にする記号言語

言語障害のある人の中には、身体的にも障害をもつ人が多い。したがって、それだけ孤独になりがちだ。

チャールズ・プリンスが開発した特殊記号言語プリシンボックスは、この苦難を緩和してくれる。

プリシンボックスは、言語障害者が黒板などに書いた記号を指差すことにより複雑な思考を伝えられるようにした言語で、プリシンボックス・コミュニケーション

ズ研究所(トロント)の努力により、すでに32か国で3万人以上の人々が利用している。

記号の数はおよそ3,000。基本的な図形や文字および数字を組合せたもので、次々と記号を指差すことにより、ひとつの考えを伝える。

オタワの研究開発企業IDON社とカナダ政府が開発に協力した結果、普通の電話でプリシンボックスによる“会話”ができる日も近いという。現在、モントリオール在住の4人の高度言語障害者の間で、電話によるテストが進行中だ。

このプロジェクトが成功すれば、言語障害者が読み方はもちろん、話し方まで覚え、さらには地方の言語障害者が都市のプリシンボックス教育センターで電話による学習ができる日が来るのでは、と関係者は期待している。

カナダの保健・医療制度

健康こそは、すべての人間の最上の幸福だ、と言ったのはギリシャの医学者ヒポクラテス。その夢を、世界でも屈指の総合的かつ進歩的な制度といわれるカナダの医療制度が、いま実現しようとしている。

健康とは病気がない状態、と言われたのは昔のこと。いまでは、身体的にも、精神的にも、社会的にも完全に良好な状態を健康と言う。人間らしい暮らしに日常的に欠かせないのが、健康だ。

平均寿命が女80歳、男73歳というカナダは、世界でも10位以内の健康国に入る。しかも、特にここ数年、一種の健康およびフィットネス・ブームが起こり、健康への関心が高まってきた。

カナダの医療制度の中心は、支払い能力の有無に関係なく、すべての国民が医療を受けられるようにする公的健康保険制度である。加えて、しっかりと研究・技術体制により、カナダの研究者は医療研究開発の面で世界でも最先端の地位にある。レーザー技術や画像診断の分野で新境地を開拓し、遺伝子構成が身体や感覚をどう制御しているかについて理解を深めるなど、カナダの研究者は医学の進歩に重要な貢献をしてきた。

医療制度の発展

カナダでは、現在、医師への診療報酬費、入院費や薬剤代などの病院サービス費、多くの外来サービス費、一部の歯科治療費は、



写真のイスツイットの婦人のように、少数民族の人々はそれぞれの民族の言葉で治療を受けることができる。

Photo: SSC Photo Centre